

縄文人の

鍋の底

nabe

soko

を探る



縄文人は何を食べていたのか？鍋の底から縄文の食材を探そう！

講師：佐々木由香 氏

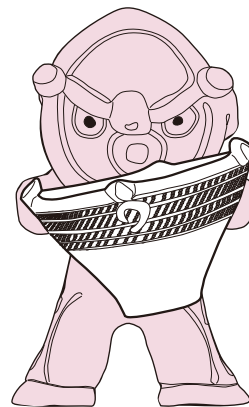
(株)パレオ・ラボ統括部長・植物考古学)

日時：平成26年1月18日(土) 午後1時開始

焼成前の縄文土器の粘土に、当時身近に存在した穀類が混入し、圧痕の形で残されていることが、最近の研究で解ってきました。レプリカ・セム法という方法で観察すると、従来縄文時代には存在しないと考えられてきたダイズやアズキさえ、確かにあったことが認められています。

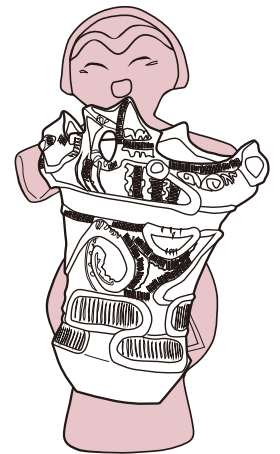
しかしこの方法は、多くの人出を必要とすることもあり、あまり行われていないのが現状です。

丸山B遺跡の調査では、約4万点を超える土器片が出土しています。これらの土器から圧痕を探し、縄文人が何を食べていたのか？鍋(土器)に残された当時の食べ物の痕跡を、みんなでさがしてみませんか。



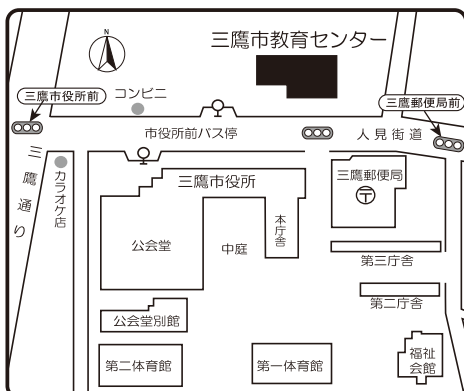
ドグミーちゃん

(三鷹市井の頭丸山A遺跡出土土器)



どぶりんちゃん

(三鷹市大沢坂上遺跡出土土器)



場所：三鷹市教育センター（三鷹市下連雀9-11-7）
科学研究室

定員：30名（事前申込・先着順）**本日限定！**

お問い合わせ：三鷹市教育委員会 生涯学習課

TEL0422-45-1151 内線 3315

参加無料

三鷹市教育委員会・三鷹市遺跡調査会